

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	障害者支援施設検討部会
開 催 日 時	令和7年1月23日 ・ 18:00 ～ 19:15
記録担当委員	佐々木 由佳
<p>【協議概要】 (視察結果について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設が広くきれいで立派な印象。土地は都の無償貸与、建設費は東京都負担の為、広大な敷地と良い立地でデザイン性の高い立派な施設であり、小金井市で同じような規模の建設は難しいと感じた。 利用者の高齢化に伴って、作業をする時間よりもゆったりと過ごしたいご利用者の現状と、施設の構造とがマッチングしておらず、課題がある。施設には視覚障害の方が多く、安全上で行動障害の方の受け入れは難しく、人数制限をせざるを得ない。 昨今の世の中の人手不足は、特に介護職員減にも現れていて厳しく、受け入れ人数を増やしたいが職員が集まらないという厳しい現状がある。新しい施設開設時の求人は厳しいことが予想される。 地域との関わりを重視されているのが良いと思う。 お風呂の設置が、大人数で入れるような構造だが、実際は個別対応で個人風呂に入浴する現状であり、無駄になってしまっている。 行動障害者を受け入れると、施設を壊したりと修繕をこまめにするケースがあるため、修繕費が事業者に係る懸念がある。 個室はプライバシーが確保される反面、死角が生まれ見守り対応する職員の人数を増やす必要や負担増など問題が多く、考慮すべき点だと考えられる。 出入り口を利用者別に設けていたり配慮が見られ良かった。 ランドリーは、かなり大きな機械を導入していて就業支援として障害者の働く場となっていた。 <p>運営方法はいかようになっていくのか、知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を作るうえで、様々な施設事業者の方との連携が必要だと感じ、実際に小金井市にどのような障害者の施設を作っていくのか絞る必要も感じる。 小金井市の小学校の大規模建て替えを聞いている。公的資金を分け合うならば地域貢献や連携は必須と考えられるが、例えば不登校児の対応や子ども食堂なども考えられる要素。また児童館の定員の2倍を上回る希望者数の増加実情など、インクルーシブな施設経営に対応する、経営力やノウハウなどが求められる。 文京区の見学も希望する。 <p>(アンケートについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漠然と答えにくい質問があり、もう少し絞った選択制などの内容に変えたほうが良いのでは。 体力的に実績のある事業所の返答を参考にしたい。 	
<p>【次回の開催日程】 令和7年2月13日(木) 17時から 前原暫定集会施設A会議室</p>	